

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第132日

英語版はソフィア・オリーニックさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。

日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

修復 ウクライナは、今後10年間の新しいウクライナの復興計画を提示しました。 提示されたプロジェクトは、7500億ドルの資金調達と、約850のプロジェクトの実施を想定しています。デジタルトランスマネーションと制度的能力の強化はプロジェクトの基礎と見なされます。

復興計画の実施は、[3つのフェーズ](#)を想定しています。進行中の第一段階では、給水など、人々の日常生活に欠かせないもの修正を想定しています。次の段階は、戦闘が終了するとすぐに起動される住宅、病院、学校などの「高速回復」に関するものです。最新のステージは、長期的に国を変革することを目的としています。

シュミハリ首相は、侵略の結果としてロシアがウクライナのインフラにもたらした被害額はすでに1,000億ドルを超えると述べています。復興の費用を考慮して、シュミハリ首相は、回復に必要な費用を賄うために凍結されたロシアの資産を使用することを提案しました。この考えは英国の外務大臣リズ・トラスの支持を得ました。[ロイター](#)によれば、リズ・トラスはロシアがその「恐ろしい戦争」によって引き起こされた損害の責任を問われる必要があると述べました。

サポートのコスト。[「ウクライナのサポートのトラッカー」](#)は、2022年1月24日のロシアとウクライナ間の紛争の激化以降、6月7日まで、西側のドナーがウクライナに提供した支援に関する新しいレポートをリリースしました。データは、米国が依然としてウクライナへの最大のドナーであることを示しています。次は、EU機関(155.4億ユーロ、主にMFA、EPF、EIBのコミットメント)と英国(48.3億ユーロ)です。現在、ドイツは最大のEUドナー(32.9億ユーロ)であり、ポーランド(27.5億ユーロ)がそれに続き、大規模な軍事援助を提供しています。ウクライナへの支援のGDPシェアに関しては、エストニアが引き続き最大のドナー(GDPの0.97%)、ラトビアが2位(0.82%)、ポーランドが3位(0.61%)です。

難民支援のための資金に関しては、ポーランドは明らかにヨーロッパ諸国の中で第1位であり、100万人以上のウクライナ難民を受け入れている唯一の国です。ドイツは78万人の難民で2位に続き、チェコ共和国(366,632)、イタリア(125,907)、スペイン(118,199)はそれぞれ3位、4位、5位です。各歓迎国の人団体を考慮すると、チェコ共和国がリストのトップ(3.43%のシェア)、モルドバが2番目(3.29%)、ポーランド(3.04%)、エストニア(2.99%)がそれに続きます。まとめると、東ヨーロッパ諸国は、入国する難民の点で際立っている傾向があります。

攻撃を受けている都市 ロシア軍はドニプロペトロウシク州で7発のミサイルを発射しました。6発のミサイルが破壊されたが、1発は住宅地に到達した。マイコラーイウも砲撃を受けました。2発のミサイルがスミー州のショストカコムユニティを攻撃しました。ロシア軍はロシアからスミー州の国境地域を定期的に砲撃しています。ハルキウ州も定期的なミサイル砲撃を受けています。昨夜、教育施設が被害を受けました。ウクライナ軍は依然としてルハンシク州の残りの領土の防衛を維持しており、ロシア軍がルハンシクとドネツク州の行政境界に到達するのを防いでいます。

占領を受けている都市 クリミア自治共和国のウクライナ大統領の任務によれば、ロシア軍は半島で強制的な動員の準備をしています。そういう動員は侵略国の軍隊へのウクライナ市民の動員であるため、ジュネーブ条約の違反とみなされています。

[ウクライナの諜報機関](#)はロシアが9月11日にヘルソンとザポリージャ州で疑似国民投票を計画していると述べています。可能なシナリオがいくつかあります。一時的に占領された領土の併合も準共和国の創設も可能です。

パルチザン運動は占領地で活動しています。ウクライナレジスタンスセンターは、ウクライナのパルチザンが7月3日に、ザポリージャ州のメトポリとトクマクの間の占領下のリュビミフカの近くの鉄道橋を爆破したと報告しました。これは、クリミアからザポリージャ州の最前線へのロシアの補給を妨害する可能性があります。以前、パルチザンは7月2日にメトポリの近くで弾薬を運ぶロシアの装甲列車を脱線させました。戦争研究所は、パルチザン運動をロシアの鉄道路線を対象とした協調的な党派キャンペーンを示す繰り返しのパターンと見なしています。

外交政策。スウェーデンのマグダレナ・アンダーソン首相は、キーウ市やブチャ市やボロディアンカ市などを含むウクライナを訪問しました。代表团は、ブチャで最初に呼ばれた聖アンドリュー教会の近くでロシア人によって殺され、拷問された人々の大規模な墓を訪れました。共同声明で、ウクライナとスウェーデンは、防衛、核エネルギー、エネルギー効率、ウクライナへの財政支援の分野での二国間協力に合意しました。さらに、スウェーデンはウクライナに財政支援を提供する用意があることを表明しました。また、アンダーソン首相は、スウェーデン国立公文書館に保管されていた1711年の手紙の写しを大統領に譲渡しました。その中で、チャールズXII王は、コンスタンチノープルのスウェーデン大使にザポリッジヤのシーチを独立国家として認めるように指示しています。マグダレナ・アンダーソンによれば、すでに18世紀の初めに、スウェーデンの王はコサックの民主主義に感銘を受けました。

一方、フィンランドとスウェーデンは本日、1ラウンドでNATOに参加するための交渉を完了しました。7月5日に、同盟への国の加盟に関する公式文書が署名されます。

制裁。制裁の7番目のパッケージはディスカッションテーブルにあります。外務大臣のドミニトロ・クレバさんは、別の制裁措置には、ロシアの銀行のSWIFTからの完全な切断が含まれると述べています。また、ロシアの金と通貨の準備金を処分する能力を阻止するための明確な措置が必要であり、これはロシアの金との相互作用の禁止を意味します。また、ロシアはそこでの世界的な海事貿易から切り離されなければなりません。「これは、まず第一に、船のオペレーターがタンカーをロシア連邦が自由に使えるようにすることができないことを意味します。ロシアの外国為替準備金を処分する能力を阻止するための明確な措置、つまり従来の言い方をすれば、ロシアの金との相互作用の禁止」とドミニトロ・クレバは述べました。

ベラルーシ ウォロディミル・ゼレンスキーダー統領は、ベラルーシとロシアの合同軍とロシアの「特別作戦」に参加することに関するアレクサンド

ル・ルカシェンコの声明を「危険」と呼びました。「これまでのサインが危険でした。そういうサインの結果もうすぐ表示されると思います。」と言いました。

エネルギーセキュリティー ウクライナのエネルギー大臣ハーマン・ハルシェンコは、グリーン変革がウクライナの戦後の回復の中心になると強調しました。目標の中には、再生可能エネルギー源の7.1 GWの構築し、グリーンエネルギーを刺激する市場モデルに切り替えることです。現在、ロシアはウクライナの風力発電所の90%を破壊、損傷、または占領しました。

イスラエルは、「グリーン」回復を目的とした国および民間の気候プロジェクトの実施に投資します。これには、電気、暖房、産業、輸送、建設、農業、廃棄物管理の分野のプロジェクトが含まれます。

メディア「The Independent Media Council」は、ウクライナ当局に対し、EUの要件に準拠して、新たなメディア法を公然と議論し、最終決定し、採用するよう求めました。この呼びかけは、「ウクライナの法律をEUの視聴覚メディアサービス指令と整合させ、独立したメディア規制当局に権限を与えるメディア法を採用することにより、既得権益の影響を取り組む」という欧州委員会の勧告に応えたものです。国民およびメディア組織は、最高会議が必要な法律を議論するための透明で参加型のプロセスを開始することを要求します。

読書コーナー

- [Decolonization and Disentanglement in Ukrainian Art | post \(moma.org\)](#)
- [Europe's task now: Embrace diversity and work together against Russia | POLITICO](#)
- [How the Russian Media Spread False Claims About Ukrainian Nazis | The New York Times](#) – ‘2014年以降に8,000を超えるロシアのウェブサイトから収集されたウクライナに関する約800万件の記事のデータセットは、ナチズムへの言及が8年間比較的横ばいであり、ロシアがウクライナに侵入した2月24日に前例のないレベルに急上昇したことを示しています。それ以来高いままであります。
- [‘Putin’s ideology is homophobia’: Ukraine’s LGBTQ+ community fights for freedom on the frontline | CBS News](#) – ミレフスキイはCBSニュースに、ウクライナのゼレンスキイ大統領がロシアの戦争に反対の中、国を統一し、ウクライナのLGBTQ+コミュニティは、憎悪犯罪法案と同性のシビルユニオン法案の両方に期待していると語りました。

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年7月5日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました：人員約36,200人、戦車1589台、装甲戦闘車両(APV)3,754台、砲兵システム804台、多連装ロケットシステム(MLRS) 246台、対空戦システム105台、固定翼航空機217台、ヘリコプター187台、軽装甲車2,610台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV658台、特殊装備65台、移動式短距離弾道ミサイルシステム144台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- 「[Hospitallers](#)」という医療大隊を支援してください。「Hospitallers」は2014年からホットスポットで作業している救急医療ボランティア団体です。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！